

練馬区災害時安否確認ボードをお届けします

大地震が起きたとき (区内で震度5弱以上)

みなさまにお願いしたい **2つ** のこと

ひとつめ

ご家庭が無事で、地域の助けを必要としないときは、**安否確認ボードを玄関の外に掲示してください。**(少なくとも3日間は掲示します。)

ふたつめ

近隣の住居を見回り、安否確認ボードが出ているかどうか確認してください。**「無事です」の掲示が出ていないお宅を優先して声かけを行います。**



●安否確認ボードは、災害時に、地域で助けを必要としている方を速やかに見つけ、支援をするための仕組みです。**支援の必要のない家庭が「無事です」の掲示をしていただくことで、『掲示のない家庭』＝『無事でない可能性がある家庭』を迅速に特定できます。**

●ボードの掲示のないご家庭には「大丈夫ですか?」の声かけをお願いします。

【安否確認ボードQ&A】.....

Q1 安否確認は大切だと思いますが、誰が行うものなのでしょうか?

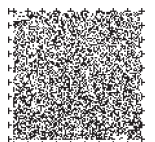
A1 発災直後、区や警察、消防などの活動には限界があるため、公的機関による安否確認がすぐに行われる保証はありません。そのため、安否確認は近隣の方々の助け合いが基本となります。

Q2 近所の安否確認をして、救助などの支援の必要な人がいた時はどうしたらいいですか?

A2 可能な範囲で支援をお願いします。一人では行えない場合は、地域の方々の協力を求めたり、公的機関に救助要請をしてください。

Q3 なぜ、3日間も掲示が必要なのでしょうか?

A3 人命救助には「72時間の壁」があり、72時間(3日間)を過ぎると、生存率が著しく低下すると言われています。3日間掲示することで、地域の安否確認や救助活動が効率的・効果的に行われるようになります。



<災害時安否確認ボードの日頃の使い方>



地震はある日突然やってきます。
そのとき、安否確認ボードをすぐに使えるように、日頃から、玄関や室内の見やすい場所に「わが家の防災計画」の面を向けて、掲示しておきましょう。

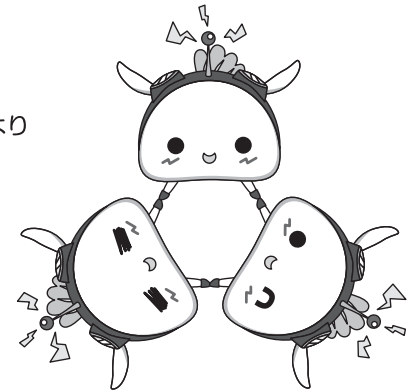
<地域のつながりが人とまちを災害から守ります>

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊が多く発生しましたが、
生き埋めや閉じ込めから救出された人のうち、約8割(※)が、
地域住民等によって救出されました。
(※)平成15年版防災白書より

災害時、まず駆けつけることができるのは、隣近所をはじめとした地域の方々です。

日頃からの近所づきあいや、町会・自治会とのかかわりが
減災への大きな力となります。

3つのポイントを参考に地域の防災力を高めましょう。



練馬区公式アニメキャラクター ねり丸
©練馬区

①日頃からコミュニティを大切に

- 自分たちの住む地域のことをよく知り、そこに住む方々との顔の見える関係、コミュニティを大切にしましょう。

②自分たちのまちは自分たちで守る

- 大きな地震が起きたとき、近隣の方々の安否確認や初期消火活動などにご協力をお願いします。

③地域の防災活動への参加を

- 災害に備え、各地域で行っている防災訓練に積極的に参加しましょう。

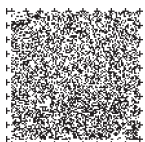
*町会や自治会などで、独自の安否確認の仕組みを作っている場合には、それを変更する必要はありません。
これまで通りの安否確認の方法を継続してください。

*安否確認ボードの外国語表記は、日本語のほか、英語・中国語・ハングルの3か国語でも「無事」を示す言葉を表記しています。この使用説明書の外国語版は、平成28年1月以降に発行予定の「外国語版 わたしの便利帳」とあわせて配布する予定です。

An English language version of this instruction leaflet will be enclosed with the foreign-language edition of the Resident's Guide to the City, which will be published after January 2016.

「本使用説明書の(中文)標示, 计划装订入 2016年1月以后发行的外国語版便利帳内。」

“이 사용설명서의(한국어) 표기는 2016년 1월 이후에 발행될 예정인 외국어판 가이드에 동봉됩니다.”



【災害時安否確認ボードに関するお問い合わせ】
練馬区危機管理室区民防災課 電話：5984-2605